

郷土かみのかわの歴史・文化財

県指定文化財 長泉寺の木造十一面観音菩薩坐像

上三川に所在する長泉寺は、上三川城主の今泉氏の菩提寺として、1504（永正元）年につくられたお寺です。この長泉寺の本尊が、平成2年に県の有形文化財に指定された木造十一面観音菩薩坐像です。

十一面観音菩薩とは、名前の通り頭に10もしくは11の仏の顔を持つもので、聖観音・千手観音・如意輪観音・馬頭観音・准胝観音とともに六観音の一つに数えられます。頭上には悟りの表情、正面は慈悲の表情、そして怒りの表情、讚嘆の表情、笑顔といった様々な表情が表現されています。十一面観音菩薩に対する信仰は、奈良時代頃から盛んになり、平安時代になると民間信仰と結びついて、個性的な像が作られるようになります。

長泉寺の木造十一面観音菩薩坐像は、珍しい坐像形式のもので、定願という仏師に

など、全体的に非常に丁寧に作られていることから、作者の技術が非常に高いものであったと考えられます。

長泉寺は、横田氏に替わり上三川城主になった今泉氏によって、室町時代の中頃につくられた寺であることは、最初に記しましたが、十一面観音菩薩坐像は寺の開山よりも百年以上も前にできていたこととなります。今泉氏がこの仏像をどのように入手したのか、またどのような経緯を辿って長泉寺にやってきたのかは、詳細には分かっていませんが、興味ある謎の一つです。



非常に丁寧な作りの十一面観音菩薩坐像

西暦	元号	できごと
1416	応永23	上杉禅秀の乱。
1423	応永30	宇都宮城主宇都宮持綱、同族である塩谷教綱の一族に叛かれ、自害させられる。
1438	永享10	永享の乱。幕府、鎌倉公方足利持氏を討つ。持氏、宇都宮等綱のもとで保護される。
1441	嘉吉元	嘉吉の乱。
1449	宝徳元	鎌倉府復興。公方に足利成氏就任。
1454	享徳3	享徳の乱。足利成氏、上杉憲忠を誅殺、関東動乱。
1467	応仁元	応仁の乱始まる。
1504	永正元	長泉寺が建立される。
1512	永正9	芳賀一族が宇都宮当主宇都宮成綱に反抗して宇都宮錯乱状態となる。
1526	大永6	芳賀興綱、結城政朝と共謀して宇都宮城を攻め、宇都宮成綱の子忠綱を追放し、城主となる。
1549	天文18	高連川五月女坂の合戦。 上三川城主今泉泰高・泰光親子奮戦する。
1553	天文22	宇都宮と鹿沼から壬生綱雄が、上三川に攻撃を行い20人を討ち取るという。
1576	天正4	佐竹義重、壬生攻撃のため上三川に出陣。
1582	天正10	織田信長、京都本能寺にて自害。
1583	天正11	このころ後北条氏と東国領主との合戦（沼尻合戦）が始まる。
1585	天正13	北条氏直、壬生義雄や那須資晴と結び、宇都宮城下に攻め入り、一部は上三川・多功に迫る。宇都宮氏、居城を多気山城へ移す。
1586	天正14	下館の水ノ谷蟻竜が上三川城を攻撃する。
1592	文禄元	宇都宮国綱、朝鮮出兵。 上三川城主今泉高光もこれに従う。
1597	慶長2	宇都宮氏改易。上三川城廃城。